

Title	昭和四十七年度三田史学会大会；東洋史大学院研究会(昭和四十八年度)；国史専攻修士論文；東洋史専攻修士論文；西洋史専攻修士論文；国史専攻卒業論文(学部)；東洋史専攻卒業論文(学部)；西洋史専攻卒業論文(学部)；通信教育課程卒業論文
Sub Title	
Author	
Publisher	三田史学会
Publication year	1973
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.45, No.4 (1973. 10) ,p.87(447)- 90(450)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	彙報
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19731000-0087

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

彙報

昭和四十七年度三田史学会大会

昭和四十七年度の三田史学会大会は田中萃一郎先生没後五十年を記念して左記の通りに開催された。

日時 昭和四十七年十一月十一日(土)午後一時半～四時半

場所 東京都港区三田 慶応義塾大学五一九番教室

《田中萃一郎先生追懷》

慶応義塾大学名誉教授 高橋誠一郎氏

《史学者としての田中萃一郎先生》

慶応義塾大学名誉教授 松本信広氏

懇親会 午後五時

展覧会 図書館記念室

東洋史大学院研究会(昭和四十八年度)

六月三十日 於五四一番

瀬良重夫「台湾アミ族の焼畑耕作から水稻耕作への転換過程

——頭目制との関連性——」

李 柏如「左伝について」

七月七日 於一三四番

増子暁美「ハワーリジュ派の思想とその起源」

大村陽子「一五六九年のアストラハン遠征と一六世紀後半の

露土関係」

山本英史「清初遷界令の成立事情について

——鄭氏政權構造とその社会の分析——」

国史専攻修士論文

宇野 貴和 八世紀の国造について

町田 則子 聖徳太子伝暦の成立をめぐる

武田 忠利 日本中世村落の意識構造について

——中世後期の境相論を中心に——

佐相 勉 伝馬騒動に関する実録の思想

——百姓一揆の捉え方を中心として——

石田 誠吾 明治初年の人民闘争——梅村騒動の場合——

東洋史専攻修士論文

中村 公則 オマル・ハイヤームとその思想

吉岡 知英 北アフリカ先史岩壁画論

岡本 孝之 朝鮮先史文化研究

森田 善太 一八六二年一月、太平天国の攻撃を受けた上海に於

ける紳士の活躍——外国に対する援助要請を中心と

して——

西洋史専攻修士論文

増沢 照司 歴史叙述の論理的な分析

国史専攻卒業論文(学部)

- 山岸 良二 方形周溝墓の研究
遊佐 和敏 帆立貝式古墳の研究
池中 潤二 継体天皇の擁立について
松田 宗一 日本古代貨幣に関する一考察
古田 俊暁 大化前後の地方行政制度の研究
内田 孝子 古代太陽神崇拜と伊勢神宮
佃 美知子 平安時代の女流文学者とその背景
佐野 優子 利休の佗茶
水谷 直子 桓武朝における帰化人の活躍
川手 由美 最澄について——生涯とその宗教
岩本恵美子 院政の成立について
石井千津子 富貴寺建立に関する一考察
茶畑千恵子 年中行事、主に節供の起源と農との関係について
松本 真二 祇園会について
大橋 暁子 中世における芸能座について
加藤 隆士 永長大田楽
尾路 典子 お伽草子の歴史的位位置について
三上建太郎 蒙古襲来と悪党について
黒川 純子 十四世紀播磨国矢野庄における農民闘争について
浜多 和佳 親鸞の思想に関する一考察
金 光浄 日蓮聖人民衆救済における思想基盤について
- 佐藤 正春 北条執権政治について、霜月騒動を中心にして
緑 陽子 平将門の乱について
大門 時男 世阿弥について
枝 康博 戊辰戦争に関する論争について
中嶋 三雄 幕末薩藩における会議論の推移にみる倒幕路線への
転化について
田中 雅之 長州藩の天保改革
浜崎 敏恵 大政奉還運動
荒川 秀雄 近世酒造業の展開
室橋 良子 封建制解体期における練馬地方に関する
一考察について
松井 栄子 幕末から明治へかけての上州やくざについて
村田 興律 坂本竜馬について
土方 美恵 慶応二年武州世直し一揆
榎本 雅幸 陸軍における長閑について
藤村 伸次 日本植民地統治と抗日民族解放運動
永田 孝 農地改革について
山岸 春彦 日本国憲法の成立について
仲 達吉 吉野作造の民本主義について
大島やよい 足尾鉍毒事件と反対運動
伊藤 健司 満州事変に関する一考察
金井 睦 原口統三論

東洋史専攻卒業論文(学部)

林 久美子 阮愛国と「ベトナム人民の諸要求」

杉原真理子 高台教とその発生について

森田 理子 中国古代の歌垣——詩経国風の恋愛歌からみたその習俗と歌謡——

小林 ゆき 「神農本草経」と「出雲国風土記」に於ける葉草の共通性をめぐって

竹中 順子 北宋における雜劇の成立について

五味 和平 明代中期に於ける福建農村社会の一考察——鄧茂七の乱に関する疑問を中心に——

松橋 寛治 「明夷待訪録」の研究

山本 英史 清初遷界令の成立事情について

森 幸一 湖南哥老会

中村 宗秀 水墨画の発生

斎藤 洋子 低火度釉陶器における東西の交流について

斧 寿栄 ギリシア人メナンドロスの仏教への改宗に関する一考察

丹野 裕子 後趙国における仏図澄の布教活動

加藤由利恵 高昌の仏教文化

森 久美子 銅鼓文様にあらわれた世界観

瀬良 重夫 台湾アミ族の焼畑耕作から水稻耕作への転換プロセス

西洋史専攻卒業論文(学部)

秋山 紀子 ヒットラーのユダヤ人政策

福井真紀子 ブリュニンング内閣の崩壊原因

羽入 裕子 ナチズム抬頭の原因について

秀島 慶子 シュトレゼマンとドイツの再軍備

池田 文夫 一八七一年のパリコミューン

児玉 香子 アメリカの参戦と真珠湾事件

川村ひな子 イギリス宥和政策研究序説

森永ちづ子 ウィルソン外交における新秩序構想の展開

茂木 暁美 ゼークトとドイツ再軍備政策

西山 礼子 ウッドロ・ウィルソンの戦後国際秩序の追求

西村 和子 アメリカの膨脹と革新主義

中川みゆき 仏露同盟の成立過程について

田尻 礼子 ウィルソン大統領の内政政策

佐藤 洋子 ローザ・ルクセンブルグの革命論

安見 孝 再建時代におけるジョンソン大統領の黒人政策について

山崎 重美 新外交の形成と「レーニンとウィルソンの対決」

島村美智子 ヴォルテールの歴史記述と歴史哲学

田中三重子 ベグビーの周辺文明説の意義

横内 敏美 トルストイの歴史哲学——パーリンの批判による——

竹井久美子 フロラのヨアキムの歴史観

殿島 三紀 初期ヘーゲルの歴史観—ベルン時代を中心に—

斎藤 寿代 トルストイズムにおける社会解放への道

山田 昌石 マックス・ウェーバー「プロテスタントイイズムの倫理と資本主義の精神」に関する研究

蔵並 和子 産業革命と外国貿易

三輪 妙子 アメリカ婦人参政権運動とその限界

尾山満喜夫 十八世紀フランスにおけるサンキュロットの研究

三上 朝造 十二世紀ルネサンスに関する研究

吉本 康洋 叙任権争の原因について

西川 隆明 クリユニー運動と叙任権争

林 千賀子 クリスチアン・ヒューマニズムとイギリス宗教改革

川本ふくえ ヴィクトリア朝の対インド政策

川上 純子 イギリス絶対王制下の救貧政策

新井 佳子 イギリス国教会の成立

通信教育課程卒業論文

深川 博次 白杵における大友宗麟—宗麟の改宗、死と墓を中心として—

心として—

竹歳 末夫 関孝和に関する一考察

中野 美子 尾張地方における繊維産業の歴史

綿織業の発展過程—

青山 茂代 開国における井伊直弼の立場についての考察

武田 和之 征韓論について

早坂 紘司 自衛隊の存在にみる日本人の平和に対する意義

西尾 実 蒙古期の勃興とイスラム商人

鹿田美和子 中世ドイツに於ける魔女迫害の実情とその背景ならびに女性的地位について

新井のり子 十九世紀前半におけるフランス社会主義思想の一考察

高橋 正江 ドイツ民族至上主義の分析

高橋 正江

ドイツ民族至上主義の分析

執筆者紹介

太田 次男 慶応義塾大学文学部

斯道文庫教授

江坂 輝弥 慶応義塾大学文学部教授

松本 信広 同名誉教授

松本 芳夫 同名誉教授